



●車イス介助体験・・・車イスに乗ると少しの段差も気になるね。(中津川駅前)

「中学生福祉ボランティア体験」開催!!

～夏・チャレンジ・ボランティア～

8月6・7日の2日間、市内の中学生を対象に、「中学生福祉ボランティア体験事業」を開催しました。高齢者疑似体験や車イス介助体験、福祉の現場でボランティア体験を行い、福祉についての理解を深めました。



初日は、市内の中学生38人が中津川駅前のにぎわいプラザに集まり、高齢者や障害を持った方の特性や車イス操作、介助方法などを学び、それらをふまえ、高齢者のデイサービスセンターや障害者小規模授産所などでボランティア活動に参加しました。



参加者の感想

まだ福祉に関心を持つ人が少ないので、僕たちが福祉の大切さを伝えていきたい。

高齢者の方の苦勞、サービス(施設)の大切さ、個性に合わせた対応など、福祉の事についてたくさん学ぶことができました。



この2日間で色々なことが学べた。人の気持ちを考えて行動することを第一に、接したり会話をしたい。

この体験を通して将来の夢にまた一歩近づいた。相手のことを考えながら日々行動したい。



高齢者疑似体験や車イス体験では、普段の高齢者の感覚や車イスを押したり上がったというのが本当に分かりやすい体験でよかった。

高齢者の方に教えてもらうことがとても多く勉強になった。



この夏もいろんな地域でさまざまな福祉体験やボランティア活動が行われましたのでそのいくつかを紹介いたします。

夏のボランティア体験月間

福祉のボランティア活動あれこれ

❁ ボランティア交流会を開催しました。(福岡) ❁



▲野外での交流も行いました。

8月18日に福岡地区の登録ボランティア団体を対象にしたボランティア交流会を開催しました。今年で2回目となり、今回は6団体45名の参加がありました。
当日は、各団体の紹介から始まり、今後のボランティア活動の進め方を考えたり、災害ボランティアの活動計画の作成等を検討するなど活発な意見交換が行われ交流を深める事ができました。

❁ 親子ボランティア教室開催報告(加子母・蛭川) ❁



7月23日、加子母ふれあいコミュニティセンターで「親子手話教室」を行いました。福祉体験を通じて親子の交流を深めることを目的とし、小中学生親子23組30人が参加しました。
福岡で活動する手話サークル「すみの会」のみなさんを講師に招き、動物の名前や自己紹介を勉強した後、実際に耳の不自由な方と1対1で会話をしました。
また、8月22日には、蛭川福祉センターやすらぎ荘で平塚澄子さんをお招きし、クイズやジェスチャーのゲームなどを通じて手話に触れ、今回は自己紹介の方法を学びました。
参加した親子は「手話を身近に感じることができたのが楽しかった。」「来年も参加したい」など話してみえました。



▲ゲーム感覚で楽しく手話を学びました。(蛭川)



▲1対1の手話での会話は緊張しました。(加子母)

❁ 小学6年生が音訳ボランティアを体験(坂下) ❁

坂下小学校6年生4名が、8月10日、坂下福祉センターさくら苑で、夏休みの学習として、音訳ボランティアを体験されました。
「音訳」は、文字情報を人間の声で音声化し、視覚障害者の方々に届ける活動です。坂下地域で音訳活動を行っているのが、坂下音訳ボランティアひばり会(榎利子会長、会員7名)です。
今回生徒の皆さんは、ひばり会が行っている活動として、広報さかしたタイムズ8月号の記事を読み、テープ録音を体験されました。生徒の皆さんは熱心に説明を聞きながら、少し緊張した様子でマイクに向かってみえました。



▲音訳って難しいなあ

❁ 地域の福祉イベントで活躍する登録ボランティア ❁



▲老人ホーム夏まつりを盛り上げるボランティアのみなさん

この夏も、いくつかの福祉施設から夏まつりボランティアの派遣依頼が福祉ボランティアセンターにあり、登録ボランティア団体のみなさんにご協力をいただきました。

養護老人ホーム清和寮の夏まつりでは、企業ボランティアグループ「三菱電機中津川製作所ボランティアクラブ」、「ふじつうテン」のみなさんに模擬店での手伝いなどのご協力をいただきました。

また、高齢者グループホーム「ササホーム」の夏まつりでは、「フレンドリークラブ」のみなさんにご協力をいただきました。このように福祉ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしてもらいたい人、ボランティア活動をしたい人、できる人との橋渡しを行っています。

❁ 地域で活躍する福祉ボランティア活動を楽しく紹介 ❁ ～中津川健康福祉まつり～



▲楽しくボランティア活動を紹介しました。

9月9日、東美濃ふれあいセンターで「第22回健康福祉まつり」が開催され、社協登録ボランティア9団体（手話サークル「すみれの会」、点訳サークル「よつばの会」、音訳ボランティア「さざなみ会」、中津川市レクリエーション協会福祉部、劇団「ゆうやけ」、フレンドリークラブ、ボランティア連絡協議会）が参加し、さまざまな福祉ボランティア活動紹介コーナーを設置しました。

当日は、多くの来場者があり、「手話体験コーナー」や「点字で名刺をつくらうコーナー」「音訳体験コーナー」「レクリエーション実演」など楽しくボランティア活動について理解を深める機会となりました。

❁ 中津川市高校生福祉クラブを開催しています ❁



▲心身障害者小規模授産所の自主製品づくりを体験



▲市視覚障害者協会会長から話を聴きました



▲児童センター夏まつりでボランティア体験

第6回

9月9日(日) 会場：東美濃ふれあいセンター
「中津川市健康福祉まつり」ボランティア参加

第5回

8月18日(土) 会場：にぎわいプラザ3階
「要約筆記入門」「手話入門」

第4回

8月9日(木) 会場：特別養護老人ホーム「シクラメン」
「施設ボランティア体験(施設内清掃と施設利用者の方々との交流)」

第3回

7月21日(土) 会場：中津川市児童センター
「三世交代流子ども夏まつり」ボランティア参加

第2回

7月14日(土) 会場：にぎわいプラザ3階
「心身障害者小規模授産所について」
「視覚障害者の方からのお話」「音訳入門」

6月16日に始まった中津川市高校生福祉クラブは、市内高校4校から16人が参加し、7～9月の間に第2回から第6回までを次の内容で開催しました。

10月20日(土)第8回の最終日まで、様々な福祉・ボランティア体験学習への参加を通して、助け合い・支えあいの精神や態度を学びます。



▲特別養護老人ホーム利用者のみなさんとの交流



▲要約筆記入門



つながる・ひろがる ボランティア団体紹介コーナー



「介護ボランティア」

(会員23人/H11・4結成)

「介護ボランティア」は、付知地区内の特別養護老人ホームの開設に伴って施設内での作業、入所者の方々の話し相手などができたら、と発足しました。

毎月ボランティアに行ける日にちを調整し、2〜5人程の7グループに分かれて訪問をしています。施設では、いろいろな仕事があり、入所されてみえる方とは余り話などがゆっくりできず、毎日沢山出る洗濯物たみや仕分け、清掃等で終わってしまいます。もう少し余裕があれば入所者の方々の話し相手ができたり、一緒に何かできれば良いと思います。それでも中には私達が来るのを楽しみに待ってくれる方がありますので、少しでも長く続けたいと頑張っています。



▲毎日出るたくさんの洗濯物をたたんでいます。

中津川視聴覚クラブ

(会員21人/S53発足)

視聴覚機器の活用により、社会教育、生涯学習、そして福祉に寄与することを目的として16ミリ映写機、液晶プロジェクターを使用し、子供会等の親子映画会を中心として活動し30年になります。ビデオカメラによる記録撮影も増えてきました。

今後も親子映画会、ビデオの記録撮影を中心に会員の親睦をはかりながら、活動を続けていきたいと思えます。地域で親子映画会を開いてみませんか？ 私たちがお手伝いをさせていただきます。



▶ 映画上映を通して子どもたちとの交流を行います。

中津川工業高校生徒による車イス整備・清掃ボランティア活動

▶ 熱心に作業をする生徒たち



8月3日、社会福祉協議会で貸出しなどを行っている車イスの整備・清掃ボランティア活動ということで中津川工業高校の生徒4人がやってきました。ゆるんでいるネジを締めたり、タイヤの空気を入れたり、汚れを雑巾で拭き取るといったお手伝いをしていただきました。中津川工業高校では生徒が学んだ専門技術を地域でのボランティア活動などに活かしていく取組みを行っています。

中学生・高校生による三世代交流ボランティア活動



7月21日、東児童館にて「三世代交流子ども夏まつり」が行われ、児童館を利用する親子や地域の高齢者など130人も参加者がありました。子ども達の遊び相手のボランティアとしてジュニアリーダーや中津高校の生徒が参加してくれました。ビニールプールでの水浴びや各種アトラクションで子どもたちと楽しいひとときを過ごしました。



▲幼児とふれあう高校生

地域では様々な福祉ボランティア活動が必要とされています。今回は、高校生による活動の一部を紹介します。

ボランティア募集や福祉イベント、助成金などに関する情報交換ができるページです。

ボランティアかわら版

平成19年
10月～

※「こんなことができる」「こんな特技を活かしたい」と思ったら福祉ボランティアセンター(にぎわいプラザ3階)へお気軽にご連絡ください。(TEL66-1111 内4285)